

.....栗本宗治(大阪医科大)

十一、尾鷲大庄屋文書にみる船頭水主の病氣・死亡について
.....茅原弘(津市)

十二、医院雑誌と東京薬学新誌について
.....寺畑喜朔(金沢医大)

十三、我国における戦前の薬学教育
——大阪薬学専門学校と大槻式を中心として——
.....三宅宏司(大阪教育大)

十四、大正初期、北海道における移動医師・永富謙蔵
.....末中哲夫(京都教育大)

十五、齊藤勝寿と鷗外・補遺(資料展示)
.....丸山博(箕面市)

十六、吉田顕三のこと(第三報)
彼の寄附行為について(資料展示)
.....丸山博(箕面市)

十七、京都帝国大学ニ小兒保健衛生研究所設置に関する建議案
について.....今村雄一(堺市)

十八、シルビウス(一六一四—一六七二)とジュネーバ
(蒸溜酒).....石田純郎(三菱水島病院)

H・ボイケルス(ライデン大学)

H・E・ヘンケス(ロッテルダム大学)

日本医史学会関西支部昭和六十年春季大会
中野操先生米寿記念の会

とき 昭和六十年四月二十一日(日) 午前十時より
ところ 大阪市東区馬場町二番十二号
大阪共済会館二F

一般演題

一、「ピリリ考」後日譚：宗田一(京都市)

二、ドーフル散考.....栗本宗治(西宮市)

三、医と政治・英国二十世紀の例
.....栗本宗治(西宮市)

四、鳥取藩南条女成家資料について
.....森納(鳥取県)

五、「増補改正訳鍵」について——その出版経過
.....岩治勇一(大野市)

六、「甘肅彩陶」の鋸歯文について
.....杉本茂春(大阪市)

七、大阪にあるアンブローズ・パレの資料から解ったこと
.....大村敏郎(慶応義塾大学
医史学研究室)

八、長崎におけるマンズフェルトの外科学講義
.....蒲原宏(県立ガンセン
ター新潟病院)

九、明治初年の救癩施設：佐久間温巳(西尾市民病院)

十、ポードイン書簡について

その一—速報……………石田純郎(三菱水島病院)

十一、木村孝藏先生の系譜と関連資料について

……………寺畑喜朔(金沢医大)

十二、新収蔵資料紹介

青木允夫(くすり博物館)

〔特別企画〕拓本のとりかたを巡って

午後二時半より

〔演題〕Simplex sigillum veri か、

SIMPLEX VERI SIGILLUM?

山中太木(大阪医科大学)

〔特別講義〕拓本のとりかた

日本拓本協会会長 高橋昌博

中野操先生米寿記念祝賀行事

四月二十一日(日)午後四時より

第二十回労働衛生史研究会プログラム

日時 昭和六十年(一九八五)四月二十七日(土)

一四：〇〇—一七：〇〇

会場 国立教育会館・七〇三研修室(7F)

電話 〇三—五八〇—一二五一

(地下鉄・虎の門又は霞ヶ関下車、文部省となり)

プログラム(質疑討論各十分、スライドなど用意なし)

一、一九七〇年代の京都の労働衛生事情

……………藤田幸子(同志社大・人文研)

二、明治政府の労働者保護に対する態度に就て

一、明治前期(明治二十年、職工条例、職工徒弟条例立案

に至るまで)

……………福留祥子(関西大・社会学部)

三、日本工場法史と"国家"社会政策……………橋本重遠

四、戦後労働衛生発展史(第二報)

—人絹工業における二硫化炭素中毒—

……………乾修然(京都工場保健会)、

藤田幸子(同志社大・人文研)

五、黄燐中毒と野村孝……………三浦豊彦(労研)

六、緒方正規の時代と労働衛生

……………野村茂(熊本大医学部)